

# 琉球大学学術リポジトリ

## ガバナンス変容の中の沖縄 ーグローバル化と自治の新しい関係に関する研究ー

メタデータ	言語: 出版者: 島袋純 公開日: 2009-08-12 キーワード (Ja): グローバル化, 自治, ガバナンス, 沖縄, 東アジア, 憲法, 平和, 地域, 沖縄の自治, 自治体改革, グローバル・ガバナンス, 地域ガバナンス, 国際統合, 人権, 米軍, 安全保障, 市民社会, 相互依存, ガバナンス変容, 国際都市形成構想, 市民, グローバリゼーション, トランスフォーメーション キーワード (En): Citizenship, Governance, Autonomy, Globalization, Security, Civil Society, Okinawa, Cosmopolitan City Formation Concept 作成者: 島袋, 純, 我部, 政明, 高良, 鉄美, Shimabukuro, Jun, Gabe, Masaaki, Takara, Tetsumi メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/11775">http://hdl.handle.net/20.500.12000/11775</a>

文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)(2) 課題番号15330026 代表：島袋純  
平成15～17年度 科学研究補助金 研究成果報告書

# ガバナンス変容の中の沖縄

—グローバル化と自治の新しい関係に関する研究—

平成18年3月

研究代表者

琉球大学教育学部 助教授 島袋 純

## は し が き

本研究は、地域レベルのガバナンスを開放的な体系と規定しグローバル化及び国際的な地域統合との相互作用の文脈において理論的に把握することを試みるものである。沖縄の事例を中心に国際比較研究を通じて一定のモデル構築を目指すとした。

まず、グローバル化とは何か、地域、特に沖縄への影響という視点からグローバリゼーションの中身を検討し、操作可能性を高めるための概念的な整理を行った。グローバル化が沖縄の地域経済社会に及ぶ影響の把握（地域が歴史的・文化的に形成している価値＝ローカル・スタンダードの変化、社会経済活動への影響、NPOをはじめとする市民社会からの問題解決主体の登場など）。地域政府による反応的政策形成およびレジーム革新の動向（日米安全保障体制の変容が憲法システム及び中央地方関係に及ぼす影響、地方政府による脱軍事的政策の追求、独自課税制度や環境基準設定、新たな自治・協働システム形成の試みなど）を分析検討した。

2年目にはグローバル化と地域経済社会および地域政府との相互関係に焦点を当てたケース・スタディを行った。諸外国の地域政府（島嶼政府）、あるいは島嶼国家との研究に比重をおいた。グローバリゼーションの進む近年、島嶼地域のガバナンスがいかなる変容を引き起こしているかについて、それぞれの国を専門とする多くの研究者を招聘し、研究会を重ねた。上半期には、ドイツの連邦制の変容、カナダ連邦制の変容、太平洋等諸国家及び島嶼地域の独立と自治、マルタ共和国の政治的自律と経済的自立、英国、イタリア及びフランスのリージョナリズムの変容等について研究会を行い、04年12月には、英国（シェフィールド大学）、台湾（成功大学）、韓国済州島（済州大学）、オーストラリアタスマニア島（タスマニア大学）から、それぞれこの研究分野の第一人者をお招きして、国際的なワークショップ（英語）とシンポジウム（日本語）を行った。

3年目の本年は、特に国内の政治及び自治の変容をテーマとして、北海道大学教授の山口二郎氏と、佐賀県知事の古川康氏をお招きし、シンポジウム「ガバナンス変容の中の沖縄ーグローバル化と自治の新たな関係ー」を設定した。

そもそも本研究は、北海道大学の山口二郎教授から研究のご示唆を受けことがきっかけであり、沖縄におけるガバナンス変容の要因分析及び将来的な変革の方向性についての研究を目指して二年半前から研究活動を開始した。今回は、その最終シンポジウムとして、まず、山口二郎氏に、ガバナンス変容に関する一般的な理論についてご報告をいただき、また沖縄における特徴とその意義について報告して頂いた。

多くの先進国では福祉国家の見直しが進んでいる。それと同時に国を超える経済的な相互依存は、ますます進展し、自治体や地域も、直接この国際的な経済の荒波にさらされるようになってきた。その中で地域の人々の暮らしを守り、社会を再生し、民主的でかつ効率的な自治体の運営や仕組みを実現することがどうしても必要になる。山口二郎氏らの提

唱する「ソーシャル・ガバナンス」は、このような問題意識に支えられている。

さらにガバナンス改革の一つの具体的なモデルとして、極めて示唆に富む取り組みを行っている佐賀県の古川康知事より報告をいただいた。ローカル・マニフェストに基づく選挙と、当選直後から開始したマニフェストサイクルに基づく自治体経営改革の良き例と言える。予算と人員の大幅な削減が不可避の時代、職員の志気をあげつつさらに高いパフォーマンスを維持さらに向上させていくには、どのような経営改革が必要なのか。最も成功しつつある事例として全国でも高い評価を受けている古川知事の実践報告は、三位一体の改革のもと、極端な財政悪化に苦闘する自治体にとって処方箋の提示となるであろう。

シンポジウムの会議録は、本報告書に納められている。本研究では、国内外から非常に多くの研究者及び実務家の方にご協力を頂いた。快く報告をお引き受けし、ご協力下さった多くの先生方に深く感謝申し上げたい。

島 袋 純

#### 【研究課題】

文部科学省科学研究費基盤研究（B）（2）課題番号 15330026・00

ガバナンス変容の中の沖縄－グローバリゼーションと自治の新しい関係に関する研究－

#### 【研究組織】

島袋 純 琉球大学教育学部助教授 (研究代表)

我部政明 琉球大学法文学部教授

高良鉄美 琉球大学大学院法学研究科教授

#### 【研究経費】

平成15年度 390万円

平成16年度 560万円

平成17年度 390万円

#### 【16年度の本研究の成果報告書】

1, *Okinawa Workshop & Symposium on Comparative Regional Governance*, March, 2005(114p)

2, 『ガバナンス変容の中の沖縄－グローバリゼーションと自治の新しい関係に関する研究－2004年度研究報告書』年月日：2005年3月（全180頁）。

■英文報告書掲載

Glenn Hook(シェフィールド大学教授) *Changes of the Regional and National Governance in the International Regional Integration and the Globalization.*

Ko Changhoon (済州大学教授) *Changing Governance of Cheju and Korean.*

Ting Jen-fnag (国立成功教授) *Changing Governance of Taiwan.*

Richard Herr (タスマニア大学助教授) *Changing Governance of Pacific Islands.*

Glenn Hook (シェフィールド大学教授) *Regional Governance Change.*

■和文報告書掲載

上村英明 (恵泉女学園大学助教授)「人民の自己決定権と沖縄」

片木淳 (早稲田大学大学院教授)「ドイツ連邦制」

吉田健正 (桜美林大学教授)「カナダ連邦制」

池谷知明 (拓殖大学助教授)「イタリアにおけるリージョナリズム」

大城肇 (琉球大学教授)「マルタ共和国の独立と経済的自立」

松島泰勝 (東海大学助教授)「太平洋島嶼国家・地域の独立と自立」

■発表頂いた報告者

久邇良子 (東京学芸大学助教授)「フランスにおけるリージョナリズム」

【17年度に発表された関連業績】

島袋純「変容する国民国家と地域ガバナンス～スコットランドと沖縄を事例とする一省察～」寄本勝美・辻 隆夫・縣公一郎編『行政の未来』成文堂 2006年3月、117頁～139頁担当。(全518頁。論文18本中の5番目)

島袋純その他編著『沖縄自治州 あなたはどう考える－沖縄自治州基本法試案－』沖縄自治研究会 2005年10月。39頁～65頁、111頁～116頁執筆担当。編集及び監修担当。

島袋純「21世紀の沖縄の自治の可能性3」『自治おきなわ』沖縄県町村会 2005年10月、10頁～19頁。(全119頁)

島袋純「沖縄における自治の破壊と再生」『軍縮地球市民』No2 明治大学軍縮平和研究所 2005年9月、120頁～130頁。

# 目 次

## I. ガバナンス研究論文

---

1. 「グローバルゼーションと沖縄の自律構想」  
島袋 純（琉球大学助教授）・・・ 1
2. 「安全保障をめぐるガバナンス」  
我部 政明（琉球大学教授）・・・ 21
3. 「沖縄のガバナンス変容—憲法的視点から」  
高良 鉄美（琉球大学教授）・・・ 41
4. 「グローバル化とガバナンスの変容の中の沖縄」  
島袋 純（琉球大学助教授）・・・ 55

## II. ガバナンスシンポジウム議事録

---

平成17年12月10日（土）

テーマ：ガバナンス変容の中の沖縄—グローバル化と自治の新たな関係—・・・ 67

1. 基調報告：山口二郎（北海道大学教授）「ガバナンス変容の中の地域と自治体」・ 71  
古川 康（佐賀県知事）「佐賀県におけるガバナンス改進の実践」・・・ 82
2. パネルディスカッション・・・ 97  
コーディネーター：島袋純（琉球大学助教授）  
パネリスト：山口二郎（北海道大学教授） 古川康（佐賀県知事）  
高良鉄美（琉球大学教授） 我部政明（琉球大学教授）

資料編 シンポジウムレジュメ

---

# I. ガバナンス研究論文

---

1. 「グローバル化と沖縄の自律構想」  
島袋 純（琉球大学助教授）・・・・・・・・・・ 1
2. 「安全保障をめぐるガバナンス」  
我部 政明（琉球大学教授）・・・・・・・・・・ 2 1
3. 「沖縄のガバナンス変容—憲法的視点から」  
高良 鉄美（琉球大学教授）・・・・・・・・・・ 4 1
4. 「グローバル化とガバナンスの変容の中の沖縄」  
島袋 純（琉球大学助教授）・・・・・・・・・・ 5 5